

いつも通学でお世話になる広電。しかし、おと何気なく、毎日当り前のように乗っていました。去年8月の運賃値上げの時、父に「定期券が高うけう入るわえ」と言われた。父は「広電じゃけん」と言いました。私は「広電じゃけん」の言葉が長くなりました。おと、同じ月に被爆電車65号に乗り、原爆投下後3日で復旧した広電が、広島の人を勇気づけたことを伝いました。広島に生きている者として、広電と広島、街、広島の人との関わりを知りたいと思い、広電の1年をレポートしました。



～ 広電の1年～



カープ優勝

広電車 51号

カープ優勝(連覇)！花電車が街を走り、広島は祝賀ムード一杯！千田車庫での公開日にじっくり見ました。カープの4番、背番号51の鈴木誠也選手と同じ番号で、広電の職員さんは偶然たけな島が盛り上がる話題になれば嬉しいねと話されていました。

広電最大のイベント「路面電車まつり(第23回)」6月10日に、千田車庫で行われた路面電車まつりに行きました。6月10日は、路=6 電=10にちなんで「路面電車の日」とされています。路面電車まつりでは、たくさんの種類の電車が展示され、乗車もできました。また、被爆建物の発電所だけでなく、普段は入ることのできない整備工場も見学でき、電車の底を見ることもできました。ミニ電車運転やクイズ大会、グッズ販売もあり、楽しめました。本当に広電を身近に感じました。



横川ソニックナイト

かわいいソニックばかり

広電がソニックに襲われる!? 心配ありません。ハロウィンにちなみ横川電停周辺の横川商店街のお祭りとして定着した横川ソニックナイト(10月27,28日)のラッピング電車です。当日は多くのソニック(来場者)が広電にも出現しました。本当に楽しいお祭りでした。



車庫の様子

整備工場の様子

秋

冬

春

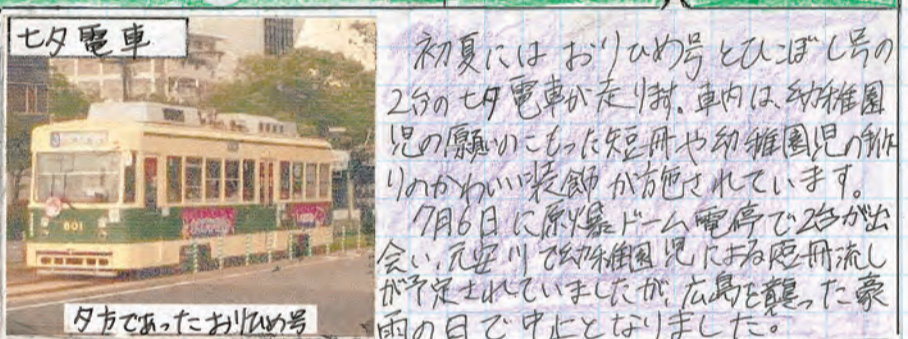
夏



クリスマス電車

プレゼント配布の様子

毎年12月にはクリスマス電車が走り、広島の人目を惹かせてくれます。クリスマスの日(12月24日)に電車に乗ったサンタやトナカイが主な電停で子どもたちにプレゼントを渡したり、一緒に記念撮影をします。私も横川電停でプレゼントをいただきました。サンタさんありがとう。



七夕電車

夕方であったおひめ号

初夏にはおひめ号とひめし号の2台の七夕電車が走り、車内は幼稚園児の願いのもとに七夕飾りや幼稚園児の作りかたの七夕飾りが飾られています。7月6日に原爆ドーム電停で2台が出会い、元宇川で幼稚園児による流しが行われていたが、広島を襲った豪雨の日で中止となりました。

広電ニュース

○広電本社前 新停留所完成  
3月、広電本社前電停がリニューアルし、エアー付待合室が新設(写真)!



○企業内保育園開園

4月、ひろびんまめこ保育園が開園。広電の職員さんも喜んで働きます。シニアの652号が平和の大切さを伝えています。

編集後記

1年間の取材を通して、父が言った「広島じゃけん」の意味が何となくわかった気がします。紙面の都合で記事にできなかったニュースや出来事がたくさんありました。10年以上の間、広島の人、広島の人とともに歩んできた広電は、広島の人とつながり、なごむことが、想像どおしい存在です。今後、JR広島駅への乗り入れや、馬前大橋線(新路線)の開業もあり、広電はこれからも広島の人とともに発展していくものと信じています。

広島では絶対に忘れない日=8月6日

去年8月11日に、広島電鉄と広島の放送局RCC中国放送が協力をした「被爆電車翔」運行プロジェクトに参加しました。この新聞を書くことができたのは、このプロジェクトのおかげです。昭和20年8月6日8時15分、原爆が投下され、路面電車が被爆しました。被爆した1台を当時の色(青)に復元し、被爆後3日で復旧し、途次にくれて、市民を勇気づけたとされる、そのレートを走るというのです。私には、原爆で亡くなった人(の思い)を忘れず、広島を復興させ、平和を築いた先人の故に感謝し、平和を守る義務があると感じました。

被爆電車は、651号と652号の2台が現存します。私も通学の時に乗ることがあります。クリームと緑の2色の電車。車内には、被爆電車の説明板が取り付けられています。8月6日8時15分に、原爆ドーム前電停で、651号と652号が同時に停車するダイヤが組まれています。また、市内走行中の電車は電停に1分間の黙祷をします。

今年、651号の4号車に停車していました。電停で安全を見守っていた職員さんにも、交通渋滞のため、652号は少し遅れているとのことでした。平和記念式典終了後、帰宅する際、広島駅から折り返してきた652号と会うことができました。この瞬間に、被爆した職員の魂を伝える広電からの「平和とヒロシマ」のメッセージを強く感じるようになりました。

広電には他にも戦災電車がある

現存する被爆電車は、おと2台あります。1台は又三交通ミュージアムに展示されている655号で、653号と同じ青色をしています。もう1台は、江波車庫で保管されている156号です。

広電には、第2次世界大戦で空襲を受けたのを復元された電車が2台あります。1台はクリスマス電車として知られる238号で、ハノーバー電車とも呼ばれています。広島からドイツハノーバーへ茶室を寄贈した際、お礼にいただいた電車です。もう1台は、大阪からやってきた元大阪市電762号です。

2台とも現存して、広島の人を走らせていますが、ハノーバー電車は窓が開かず、エアコンもなく、ICカードでの運賃支払いもできないため、1912年(大正元年)開業時の電車を再現した101号(大正形電車)とともに、イベントで活躍しています(去年までは、10~3月に土日電車として週末に運行していました)。



被爆車両に復元された655号



大阪大空襲で被災した762号



原爆ドーム前電停の651号

(平成30年8月6日8時15分)



238号(ハノーバー電車)



101号(大正形電車)